

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会

編集者：代表幹事 高橋 賢一

連絡先：市民活動支援センター

尾張旭市渋川町三丁目5番地7

(渋川福祉センター内)

TEL 0561-51-2878

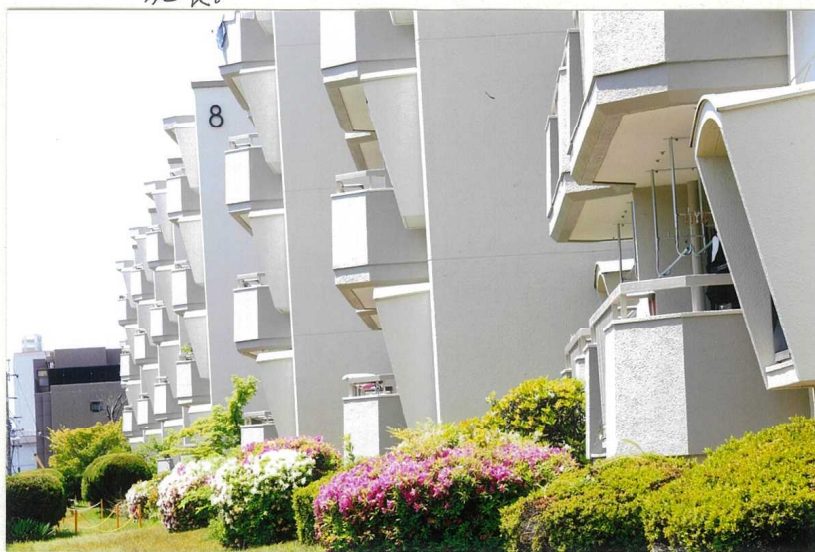


お米くらゐいまで
は見たり聞いたくする
が、政府は過去5年分
ほどお米を備蓄してい
るそうだ。

農相が対応して
きたが一向に解消
されてない。
国の対策は後手
に回った。

例えば2020年産なら
「古古古米」という表記
になる。
コメの価格が昨夏頃から
急騰し始め、今は昨年の倍
の水増しで高止まりしている。

後後後手にミミと
泰記したくなる
政府が随意契約
で放出したウキロ
で2000円の備
蓄米が並ぶ始めに
予約の時点で完売
した。



行き過ぎた高値の沈静化
につなげられたい。だが長い
目でみれば農家が安心して
コメを作り続けられる適正
な価格をどう維持してい
くかが重要だろう。

「ゴメ大臣」と自称する小
泉農相の試みは始まった
ばかりだ。

●みちのくの新米到来
水戸のどと（山口青邨）

新米は格別なうえ、米ど
ろとは呼ばれてこなかった
地産も近年は品質の向上
が著しい。

お米ではあるが、
政府は湿度や
湿度を厳重に
管理した備蓄
米の風味に自信
を示している。
それが本宅かど
うかはこれから
わかる。

